

2021年11月5日

【愛知県政記者クラブ 記者会見資料】

照会先：愛知県医療介護福祉労働組合連合会

名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館 403

TEL 052-883-6955 FAX 052-883-6956

急がれる国・自治体による医療・介護職の増員と待遇改善

## 愛知県で働く医療・介護従事者の要求アンケート、病院への調査結果

私たち愛知県医療介護福祉労働組合連合会（略称：愛知県医労連）は、愛知県内の医療・介護・福祉労働者1万2千人が加盟し、より良い医療や介護を提供するため、医師・看護師・介護労働者の大幅増員と労働条件の改善を求めています。

コロナ禍で医療・介護現場の元々の人員不足、脆弱な医療体制が明らかになっています。第5波では感染者の急増に対応できず、医療崩壊、入院できずに在宅で亡くなる方を多く出してしまいました。予想されている第6波の到来に向け、5波の惨状を繰り返さないよう、医療体制の整備、人員確保が求められます。

### 【秋闘要求アンケートに集まった声】

A病院（302件）

#### 【賃金、一時金】

- ・今、特に大変な時期、体制での勤務です。ボーナスカットはやめてほしい。
- ・コロナ禍で頑張っているのに皆に「ガンバリ料金」を払ってほしい。
- ・一時金が本当に少なすぎる。何のために頑張っているのか分からなくなって辞めたくなる。
- ・コロナ禍でリスクを背負って毎日怯えながら仕事をしているので、それなりの手当はあって当然だと思う！！
- ・パートにもボーナスがほしい。
- ・いつ感染してもおかしくない不安。仕事量が増えたのに給料が下がるのは困る。
- ・感染リスクを負いながら働いているのにボーナスが上がらないのはどうかと思う。

#### 【危険手当】

- ・コロナ関連の危険業務に入るところは危険手当が必要だと思う。不安や恐怖、感染にさいなまれます。モチベーションUPのためにもお願いします。

#### 【人員体制】

- ・スタッフが少なすぎる。
- ・（人が少ないため）座ることも食事をとることもないまま勤務を終えることもある。それにより、腰痛も出現してきた。それでも手当がないので、つらいです。
- ・コロナ感染拡大でスタッフ不足となり、時間外や、勤務スケジュール変更で大変だった。

#### 【PCR検査】

- ・コロナ陽性だった患者と防護服なしで対応した後に濃厚接触者とならない。心配だから検査して欲しい。
- ・いつどうなってもおかしくない私たち。定期的にPCR検査は必要ではないか。無症状でもありうることです。
- ・PCR検査を症状あるなし関わらず無料で受けられるようにして欲しい。

- ・病棟でコロナ患者が出た際に、PCR 検査をして欲しい。自宅に持ち込みたくない。接触した患者がいたのに PCR 検査をしない。感染対策してても検査は受けない。

### 【休暇】

- ・有給休暇がとりにくくなった。給料アップが見込めないなら、せめて休みを増やしてほしい。

### 【勤務環境】

- ・接触者外来のテント、自分が熱中症のようになってつらい。
- ・防護服でオムツ交換など体力を使う。今に皆体調不良になると思う。

### 【休業補償】

- ・コロナで病棟閉鎖した際に、（自宅待機となった）スタッフのメンタルケアが少なすぎた。手当もなく、生活できません。やめたいと思うスタッフふえました。
- ・濃厚接触者で出勤停止になった分の日数を有給休暇で消化は少し不満に思った。
- ・業務上で濃厚接触者となり自宅での自粛期間 2 週間で厚労省の保障もなく、病院の補助もないということにその事になってから知った。結局有休消化したが、このリスクのある仕事で職場の補助がないのでは働くことにデメリットしかない。このままの処遇では困る。
- ・濃厚接触者となったときの待遇を考えてほしい。このままでは働くことに不安でしかない。
- ・職場でクラスターが発生し危険だった。濃厚接触者として 2 週間ほど自宅待機となったがその期間の給料がなかなか入ってこない。

### 【精神面】

- ・実際に自分になって他の方に向かってうつしたのでは、と思い不安と恐怖があった。家にずっと一人でこもるのも精神がおかしくなりそうだった。
- ・精神的負担がとても大きいことをもっと理解してほしい。ボーナスダウンばかりではモチベーションがもたないスタッフも出てくる。
- ・もし自分が知らぬ間に感染していて患者さんにうつしてしまったらどうしよう、という不安な気持ちが常にあり、その中で働くストレスは大きい。
- ・ストレス発散する手段が全くない。
- ・心も体もボロボロです。なのになんの手当もない。
- ・感染対策などで業務が増えた上に、面会制限に対するクレーム対応などで余計に仕事が増えた。もうクレームに対応するのは疲れたので仕事をやめたい。

### 【子どもの休校、休園】

- ・子どもの保育園でコロナ陽性が判明し休園になった際、仕事を休んだが、「全部休むのは難しい」と管理者から言われ、土日出勤した。子どもの預け先がなくて困った。

B 病院 (回答 266 人)

問：コロナ拡大で辞めようと思ったか

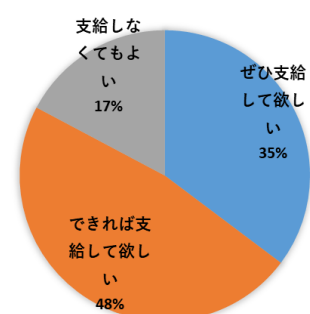
→思った 22 人 (8.4%)      思わなかった 240 人

問：危険手当の支給

→ぜひ支給してほしい 92 人 (35.2%)

できれば支給してほしい 124 人 (47.5%)

危険手当



支給しなくてもよい45人

ぜひとできればを合わせると、82.7%が危険手当を「支給してほしい」と回答  
問：自分の健康に不安を感じるか →感じる68人(25.7%) 感じない192人

県内30加盟施設(病院・介護施設)訪問、懇談(10/1~10/18)

【加盟施設訪問アンケート「新型コロナウイルス感染症に関する緊急実態調査」結果】

◆経営、患者への影響があるか

- ①外来患者の減少により収入減 6
- ②空床確保による収入減 4
- ③院内感染発生による体制縮小による収入減 2
- ④患者受け入れのための工事・設備のための負担 2
- ⑤検査や手術の延期 4
- ⑥その他 2

- ・面会禁止や制限などで患者家族に負担があることや、その対応や不平不満の発生による患者対応に職員が疲弊。
- ・介護保険サービスの利用控えによる収入減、クラスター発生による風評被害での利用者減

◆看護師の離職率

9.9 8.1 6.9 7.4 7.4 10.0 2.5 14.7 9.24 17.6 12.1 11 病院平均=9%

◆人員体制、労働条件についてコロナ禍で生じている実態(病院)

- ・残業時間の増加
- ・面会制限で荷物の運搬や、オンライン面会の対応、病院玄関に検温の要員配置など負担が増えているが、人が増えたわけではないので、人手が足りない。
- ・濃厚接触者となれば勤務はさせられないため、必然的に人員不足となる。
- ・感染対策のための消毒作業等、以前よりも業務量が増えている為、残業が発生。

(介護)

- ・クラスター発生施設でメンタル不調者。プライベートの行動自粛でストレスが強く介護職を退職した者もいる。
- ・介護報酬が下がり、売り上げが減る中、スタッフの処遇改善が難しい。
- ・コロナ禍により実習経験が不足している新人の入職 メンタル不調の職員が発生

◆職員への定期的なPCR検査等が行われているか(病院)

あり1 なし26

要望：クラスター発生時のスタッフの検査や、感染したスタッフの職場復帰時の検査など、公費で行えるようにしてほしい。

◆国や自治体への要望

- ・コロナ患者が陰性になった際、基幹病院から後方病院での患者受け入れ体制の強化

- ・収入が減少し経費は増加する一方。責任感や使命感だけで乗り切ることを期待するのではなく、適切な運営ができるようにしてほしい。
- ・病院が補助金で儲けているという報道はやめてほしい。もらいすぎではなく、補助金がなければ受け入れができない。
- ・行政の指示で病床確保している以上、財政は補填してほしい。
- ・多額の医療機器の購入に消費税がかかることが負担。患者のための機器購入は、課税対象外にしてほしい。
- ・救急車で来院し、コロナ陽性だった患者の帰宅方法の確保。
- ・確保病床数以内であっても、一度に受け入れることができる患者数には限度がある。各病院への割り振りなど、保健所は効率的にマネジメントして頂きたい。
- ・自治体病院に求められることが多すぎる。陽性者をもっと受け入れろ、ワクチンも打て、高校生のワクチンも・・・と言われても人手が足りない。
- ・人事院勧告が下がったせいでボーナスが下がる。病院は別にしてと看護師から不満の声
- ・一部の病院のみでコロナ診療を担うのは難しいため、引き続きコロナ診療に係る補助金などのインセンティブを措置してほしい。
- ・コロナだけが病気ではないので、他の疾患の入院や手術にも対応しなければならない。
- ・外来患者が2割減。コロナ受け入れ病院以外にも減収補填をしてほしい。